

# 中英語の *Debonaire* と現代英語の *Debonair* —原義の変化と現在の用例—

佐藤 利哉  
神谷 昌明

## 1. はじめに

Geoffrey Chaucer や John Gower などの研究で数多くの業績を遺した愛知教育大学の故菅野正彦名誉教授 (1935-2007) は自身の著書の中で *debonair*<sup>1</sup> という言葉を何度か取り上げ、その語源と意味に関して深い見識を披露している。菅野教授による *debonair* の解説をあらためて見てみよう。

‘*Debonaire*’ (OF *debonaire*) は、古フランス語の成句 ‘*de bonne aire*’ に由来し、「良い性質をした」 (of good disposition) という意味であった。‘*aire*’ は ‘*place, race, stock, disposition*’ 等の意味を表した。‘*debonaire*’ は中期英語ではよく使われたが、16 世紀から廃用となり現在では古い文語として残っている。これは、本来、狩猟の用語 (*Jägersprache*) として特に獵犬や鷹の「優れた血統」 (*von guter Rasse*) を意味した。それが、イギリスの宮廷語 (*die englische Hofsprache*) に取り入れられ、「穏やかな、おとなしい」 (*mild, meek*) 等の優れた性質を示す倫理的な意味 (*ethisch-wertende Sinn*) を得たと、Will Héraucourt は説明している。

(菅野正彦著『ジョン・ガワー研究』, 英宝社, 2002, p.105-106)

同教授はさらに *debonair* と Chaucer の接点に言及し、Chaucer がどの文

献からこの言葉を用いるに至ったかという問題にまで踏み込んでいる。

‘debonair’ と ‘debonairty’ の初例は *Ancren Riwe* (a1225) に見られる。(中略) Boethius から Jean de Meun へ、更に、Chaucer へと言葉が移されると自然に言葉も変わって行く。(中略) Jean de Meun が Boethius の ‘prosperam’ を ‘amiable, debonnaire et riche’ の 3 語に移し変えている。Chaucer が、直接 Boethius の 1 語 ‘prosperam’ を ‘debonayre’ に置き換えたのか、それとも de Meun の 3 語 ‘amiable, debonnaire et riche’ の中から ‘debonayre’ を選び出したのか速断するのは難しい。

(菅野正彦著『チョーサーの言葉』, 英宝社, 1997, p.72-73)

Chaucer 特有のコロケーションについて菅野教授はつぎのように指摘している。

Chaucer は Renaud de Louens の *Le Livre de Mellibee et Prudence* (1336) を *The Tale of Melibee* に翻訳した。従ってラテン語、フランス語、英語間の語句の移動が明らかである。特に ‘debonaire and meeke’ の組み合わせを Chaucer は好む。*The Tale of Melibee* では、原典にない ‘meeke’ を彼は「意識的に」補っている。

1. i. qui dit que la douce parole multiplie les amis et fait  
*debonnaire* les ennemi.(*Livre* 1038-9)

ii. For he seith that sweete wordes multiplien and  
encrescen freendes and maken shrewes to bee *debonaire*  
*and meeke*.(*Mel* 2930-5)

(菅野正彦著『中世のイギリス・ロマンス』, 英宝社, 2003, p.154)

Chaucer による *debonaire* と *meeke* の組み合わせは(1.ii)の他につぎの 2

例が同教授によって確認されている<sup>2</sup>。

*debonaire and meeke, large, curteys (Mel 2950-5)*

*debonaire and meeke (Mel 3050-5)*

一方、Gower も Chaucer と同様に *debonair* と *meke (=meeke)* を併記することがあった<sup>3</sup>。

And only with hire goodly lok

Sche made him *debonaire and meke...* (7.1890-91)

*meeke, meke* はともに現代英語の *meek* に相当する。この *meek* が *OED* が定義する *debonair* の第一義である。

*debonair*

a. Of gentle disposition, mild, *meeke*; gracious, kindly; courteous, affable (*obs.*)

(*Oxford English Dictionary* [second edition])

菅野教授は *debonair* の原義を *Anglo-Norman Dictionary* にも求め、*debonair* に関する解説をつぎのように結んでいる。

*Anglo-Norman Dictionary* は、‘*deboneire*’に「温和な、忍耐強い」(*meek, patient*)の意味を与えている。「腹を立てないでじっと我慢する」という意味である。‘*meeke*’ [EME *meoc*]は、ON.*miuk-r*に由来し、その原義は「柔らかい、しなやかな、優しい」(*soft, pliant, gentle*)という意味であった。それは、キリスト教の美德(a Christian virtue)を表す言葉として使われ、ギリシア聖書の *πραος* が Vulgate 聖書で

は ‘mansuetus’ と訳され、更に英語聖書では ‘meek’ と翻訳された。ギリシア語の意味は「柔らかい」(soft) という意味であった。‘Meek’ は「傲慢さや我意がない、謙虚で従順な、忍耐強くて危害や非難を受けても怒らない」ことを表している。特に ‘patient and unresentful under injury and reproach’ に重点が置かれている。

(前出『ジョン・ガワー研究』, p.113-114)

‘Meeke’ と ‘patient’ は同義語で、‘debonair’ は ‘patient’ とも同義語である。キリストがユダヤの旧体制に歯向ったことは歴史的事実である。彼はあらゆる悪や不正を憎み、そして苦難を受けた ‘That suffred Crist ful paciently in al his passioun.’ 彼は幾多の試練に「柔和に」しかも「忍耐強く」‘debonarily and sweetly’ 堪えた。激しい闘争を経て、キリストは「汝の敵を愛せよ」と説く。

(前出『中世のイギリス・ロマンス』, p.156)

## 2. 現代英語 Debonair の意味

16 世紀に廃用語となった debonaire は古めかしいイメージを放ったまま原義とは異なる意味の文語 debonair として再び使われるようになる。OED による debonair の 2 つめの定義は廃用以降の意味である。

debonair

b. Pleasant and affable in outward manner or address; often in mod. quotes. connoting gaiety of heart.

(*Oxford English Dictionary* [second edition])

debonair がいつ復活したのかについて *Online Etymology Dictionary*<sup>4</sup> が詳しく説明している。

Used in M.E. to mean “docile, courteous,” it became obsolete and was revived with an altered sense of “pleasant, affable” (1685)

(*Online Etymology Dictionary*)

1685年という年号の根拠は *OED* に掲載された John Evelyn の同年の著述にあるものと思われる。以下がそれである。

1685 EVELYN *Memoirs* (1857) II. 216

He was a prince of many virtues, and many great imperfections:  
*debonaire*, easy of access.

(*Oxford English Dictionary* [second edition])

ここでの *debonaire* は原義から離れ、pleasant, affable の意味で用いられている。

Chaucer が *debonaire* を用いてから 600 余年が経った。それでは現代英語で *debonair* はどのような意味で使われているのか。辞書でその定義を見てみよう。

(usually of men) fashionable and confident

(*Oxford Advanced Learner's Dictionary* [seventh edition])

(especially of men) attractive, confident and carefully dressed

(*Cambridge Advanced Learner's Dictionary* [third edition])

(of a man) confident, charming, and well-dressed

(*Collins English Dictionary* [essential edition])

1. suave or urbane
2. light-hearted or nonchalant

*(New Penguin English Dictionary)*

1. of pleasant manners; courteous, gracious, and charming (a debonair and well-dressed gentleman)
2. gay: carefree; sprightly (He's so debonair since he married)

*(Webster's Encyclopedic Unabridged Dictionary Of The English Language)*

Approving a man who is debonair is fashionable and well dressed and behaves in an attractively confident way

*(Longman Advanced American Dictionary [new edition])*

a man who is debonair wears fashionable clothes and is attractive, relaxed, and confident

*(Macmillan English Dictionary)*

1. carefree, cheerful
2. suave, self-assured
3. having pleasant manners

*(Canadian Oxford Dictionary)*

各辞書の記述の中に *carefully dressed, well-dressed, fashionable* といった用語が目立つ。現代英語の *debonair* は(男性の)性格などの内面だけでなく、外見や様態といった外面に対しても使われるようである。このことは *Oxford Thesaurus of English* に記載されている *debonair* の類語を見ても明らかである。

suave, urbane, sophisticated, cultured, self-possessed, self-assured, confident, charming, gracious, well mannered, civil, courteous, gallant, chivalrous, gentlemanly, refined, polished, well bred, genteel, dignified, courtly;

well dressed, well groomed, well turned out, elegant, stylish, smart, dashing, dapper, spruce, trim, attractive;

(*French*) soigné;

(*informal*) smooth, swish, swanky, snappy, sharp, cool;

(*N. Amer. informal*) spiffy, fly;

(*dated*) mannerly;

(*archaic*) trig, gentle;

[OPPOSITE] unsophisticated

(*Oxford Thesaurus of English* [second edition])

### 3. Debonair の訳語

小学館 *British National Corpus Online (BNC)*<sup>5</sup>によると、debonair の出現率は 100 万語に 0.49 語の割合である。30 ページの(表 1)の類義語と比較してもこの語の使用頻度がいかに低いかがよくわかる<sup>6</sup>。

debonair はめったに見かけない単語であるが、日本での認知度は必ずしも低くないものと思われる。1964 年に三菱自動車工業が高級車「デボネア」を発売したことがきっかけとなり、多くの日本人がこの言葉を耳にするようになったからである。同社の発表によると、この車名は debonair のもつ意味「快活」「ていねい」「やさしさ」に由来する。

(表 1) debonair の類義語の出現率

attractive	45.43
gentle	25.07
pleasant	23.66
mild	15.54
kindly	10.91
fashionable	10.12
gracious	3.80
courteous	2.30
docile	1.50
mEEK	1.44
affable	0.97
debonair	0.49

単位は[語/100万語]

debonair の訳語を英和辞典で見てもよう。13 の出版社が発行している高校生・大学生向けの英和辞典 42 点を対象に debonair の項目を調べ、結果を 32 ページの(表 2)にまとめた。使用頻度の低い古語であるにもかかわらず、ほとんどの辞書がこの単語を収録しており、掲載していない 4 点はいずれも収録語数(あるいは項目数)が 4 万語以下の辞書であった<sup>7</sup>。debonair の項目で採用されている訳語はつぎのとおりである。

愛想のいい(よい)、快活な、陽気な、屈託のない、気さくな、颯爽とした、丁寧な、晴やかな、愉快的な、感じのいい、垢抜けた、慇懃な、上品な、丁重な、暢気な(呑気な)、人当たりのいい、礼儀正しい、粹

な、元気な、小粋な、自信に満ちた、上品で快活な、スマートで愛想のいい、スマートな、丁重で愛想のいい、身ぎれいで快活な、明るい、明るく愛想のいい、お洒落で快活な、気持ちのよい、好感のもてる、こともなげな、爽やかな、品のある、洒落た、スマートで親切な、スマートな着こなしの、典雅な、人づきあいのいい、身ぎれいで自信に満ちた、身ぎれいで堂々とした、身ぎれいな、魅惑的な、明朗な、物腰の丁寧な、優しくてあいそのよい、優雅な

訳語として多く使われている表現は「愛想のいい(よい)」(18例)、「快活な」(17例)、「陽気な」(11例)、「屈託のない」(8例)、「気さくな」(7例)、「感じのいい」「颯爽とした」「丁寧な」「晴やかな」「愉快的」(いずれも5例)などである。

一方、少数の個性的な訳語には、*debonair* のもつニュアンスを何とか伝えようとする訳者の苦労と工夫が窺える。「典雅な」(旺文社新英和中辞典)、「こともなげな」(研究社新英和大辞典)などがその例である。また、訳語を断片的に1語ずつ並べるのではなく、単語の組み合わせによって複合的な意味を表現している例も見られる。「お洒落で快活な」(学研スーパーアンカー英和辞典)、「身ぎれいで自信に満ちた」(小学館ラーナーズプログレッシブ英和辞典)などは服装と性格の両面に言及している。

ほとんどの辞書に共通していることは「通例男性に対して」「特に男性について」などの記述が見られる点である。小学館 *BNC Online* で *debonair* が用いられている文例を抽出し、つぎの章でこれを検証したい。

(表 2) 英和辞典の debonair の項目<sup>8</sup>

辞書名 (出版社)	収録語数	定義
グランドコンサイス英和辞典 (三省堂)	*360,000	(特に男性について賞賛的に) 上品で快活な 屈託のない
リーダーズ英和辞典第 2 版 (研究社)	270,000	(特に男が) 颯爽とした 小粋な 垢抜けた 丁重で愛想のいい 人当たり[感じ]のいい; 愉快的な 晴れやかな 気さくな 屈託のない
新英和大辞典第 6 版 (研究社)	*260,000	1.(男性が) 優しくてあいそのよい 丁寧な 礼儀正しい; 上品な 優雅な 2.(人・態度など) 愉快的な 快活な 晴れやかな; のんきな 屈託のない こともなげな(nonchalant)
リーダーズ英和中辞典 (研究社)	180,000	(特に男が) 颯爽とした 小粋な 垢抜けた 丁重で愛想のいい 人当たり[感じ]のいい; 愉快的な 晴れやかな 気さくな 屈託のない
英和中辞典 (講談社)	140,000	1.丁寧な 人づきあいのいい 2.陽気な 愉快的な
新英和中辞典 (旺文社)	135,000	(通例男性に対して用いる) 1.愛想のいい; 丁寧な 典雅な(courteous) 2.陽気な 快活な きさくな(sprightly)
コンサイス英和辞典第 13 版 (三省堂)	*130,000	(特に青年が) 快活な 元気な; 屈託のない 晴やかな; 丁重な 愛想のいい
エグジード英和辞典第 2 版 (三省堂)	126,000	(特に男性について賞賛的に) 上品で快活な あいそのよい
プログレッシブ英和中辞典第 4 版 (小学館)	*117,000	1.あいそのよい; 礼儀正しい 慇懃な 物腰の丁寧な 2.陽気[元気]な 屈託のない 暢気な
ロングマン英和辞典 (桐原書店)	102,000	(男性が) 垢抜けた 颯爽とした
アドバンストフェイスリット英和辞典 (東京書籍)	100,000	(通例男性が) 愛想のよい 丁寧な; スマートな着こなしの 品のある; 屈託のない 快活な

オーレックス英和辞典（旺文社）	*100,000	（通例男性が）愛想のよい、感じのよい；陽気な、快活な、きさくな
新英和中辞典第7版（研究社）	100,000	（男性が）明るく愛想のいい スマートで親切的な
新グローバル英和辞典第2版（三省堂）	*100,000	（特に男性について賞賛的に）1.丁寧な スマートで愛想のいい 2.（人・態度が）快活な 屈託のない [古仏「育ちのよい」から]
ルミナス英和辞典第2版（研究社）	100,000	（男性が）快活な 颯爽とした スマートな
レクス英和辞典（旺文社）	98,000	（通例男性が）愛想のよい 感じのよい；陽気な 快活な きさくな
ジーニアス英和辞典第4版（大修館書店）	96,000	（通例男の態度が）愛想のよい（着こなしが）洒落た 粋な
アンカーコスミカ英和辞典（学研）	*90,000	（男性が）お洒落で快活な きさくな
新英和辞典補訂版（岩波書店）	90,000	いんぎんな；人当り[愛想]のよい；快活な 陽気な
ウイスタム英和辞典第2版（三省堂）	*90,000	（ほめて）（男性が）魅惑的な 自信に満ちた 気持ちのよい
ユースプログレッシブ英和辞典（小学館）	*85,000	（男性が）身綺麗な 自信に満ちた 愛想のよい 陽気な
Eケイト英和辞典（ベネッセ）	75,000	（記載なし）
コアレックス英和辞典（旺文社）	70,000	（通例男性が）愛想のよい 感じのよい；陽気な 快活な きさくな
サンライスクエスト英和辞典（旺文社）	70,000	（特に男性が）陽気な 愛想のよい 慇懃な
スーパーアンカー英和辞典第3版（学研）	*66,300	（男性が）お洒落で快活な きさくな
ラーナズプログレッシブ英和辞典第2版（小学館）	63,000	（男性が）身綺麗で自信に満ちた
フェイスリット英和辞典第3版（東京書籍）	*62,000	（男性が）愛想のよい 快活な；上品な；丁寧な
ユニコン英和辞典（文英堂）	62,000	（誉め言葉）（通例男性の服装・態度が）好感もてる；陽気な 快活な

ライトハウス英和辞典第5版（研究社）	62,000	（男性が）快活な 颯爽とした スマートな
グランドセンチュリー英和辞典第2版（三省堂）	*62,000	（特に男性が）スマートで愛想のよい 身綺麗で快活な
グリーンライトハウス英和辞典（研究社）	56,000	（男性が）快活な 爽やかな
新クラウン英和辞典第5版（三省堂）	*53,000	（外観・振舞いなどが）明るい 晴れやかな 快活な cheerful
ワードパル英和辞典（小学館）	*50,000	（特に男性が）身綺麗で堂々とした 礼儀正しい
プラクティカルジーニアス英和辞典（大修館書店）	47,700	（ふつう男の態度が）愛想のよい 陽気な のんきな; 丁重な; 粋な
ビーコン英和辞典第2版（三省堂）	47,300	（特に男性が）身綺麗で快活な 愛想のよい
アルファエイハット英和辞典（東京書籍）	*46,000	（男性が）愛想のよい 上品な
ニューヴィクトリアンカー英和辞典（学研）	*46,000	愛想のよい 快活な
ニュープロシート英和辞典（ベネッセ）	45,000	（男性が）愛想のよい; 明朗な 快活な
ベーシックジーニアス英和辞典（大修館書店）	*40,000	（記載なし）
ワードパワー英英和辞典（増進会出版社）	37,000	（記載なし）
小学館-ケンブリッジ英英和辞典（小学館）	35,000	（記載なし）
グイスタ英和辞典（三省堂）	*31,000	（記載なし）

#### 4. *BNC*による *Debonair* の検証

38 ページの(表 3)をご覧ください。小学館 *BNC Online* で *debonair* を検索したところ、*debonaire* の 2 例を含む 54 例が検出された。54 例のうち、No.51 と 52 以外はすべて書き言葉で、これらは 1985 年から 1992 年の間に刊行された新聞・雑誌・小説などを出典としている。詳しくは 40 ページの(表 4)にまとめた。

すべての標本のコンテキスト<sup>9</sup>を検証したところ、*debonair* に関してつぎのようなことが明らかとなった。

##### (1) 綴り字

現代英語では *debonair* と表記し、*debonaire* という綴り字は使われていないと考えてよい。今回検出された 2 例の *debonaire* のうち、No.53 は John Skelton の *Colyn Cloute* (1550 年頃の出版) から直接引用されたものであるため、この *debonaire* は現代英語ではない。

##### (2) 限定的用法

*debonair* が限定形容詞として用いられる場合、その被修飾語は男性を表す名詞や男性名(あるいは男性と思われる名前)が 20 例あり、女性名詞や女性名は 1 例も見つからなかった。

###### a. 被修飾語が男性の例

man (2 例), man(-)about(-)town (2 例), Englishman, Frenchman (2 例), bloke, Cosmo Disney<sup>10</sup>, king, playboy (P.-B.), Prince, squire

###### b. 被修飾語が男性名の例

Chris, Freddie, Harry, James, Peter (O'Toole), Seb, Simon

被修飾語が男性でない場合でも、つぎのように男性の容姿やしぐさを表

わす文例が多い。

(No.1) Sir Vivien Blacker の表情 (looks)

(No.25) 整った口ひげの表情 (look)

(No.35) 彼が手を帽子まで上げて敬礼 (salute)

(No.47) Paul が髪を後ろに掻き上げるしぐさ (way)

### (3) 叙述的用法

debonair が叙述形容詞の場合も限定形容詞と同じ傾向が見られた。主語に男性が現れている例が 17 例で、女性の例はなかった。

#### a. 主語が男性の例

he (8 例), heroes

#### b. 主語が男性名の例

David, Edward, Gary (Wostenholme), Harold, James, Neville, Rob,  
Sid

その他、debonair が犬 (Dobermann) の気質を描写するのに用いられている例が 1 例あった (No.3)。

### (4) 固有名詞

文例の No.38 から 43 に登場する Debonair は雑誌名である。第 2 章と第 3 章で考察したように debonair は男性との結びつきが強い。このことに由来したかどうかは不明であるが、文例の記述によると、雑誌 *Debonair* は男性向けの成人雑誌である。

(5) 併記語

debonair と併記されている形容詞は以下のとおりである。

handsome (3 例), dashing (2 例), gentle (2 例), suave (2 例), tall (2 例),  
bashful, caring, charming, dignified, discerning, disintegrating,  
good, monocled, rakish, sophisticated, wandering, well-groomed,  
witty, young

上記のうち charming, dashing, dignified, gentle, sophisticated, suave, well groomed が debonair の類義語として前出の *Oxford Thesaurus of English* で紹介されている。handsome との併用は debonair がもたない good-looking の意味を補うことになり、男性を好意的に評価するための賛辞としては自然な組み合わせである。

(6) 使用者

debonair は男性の描写に用いられる傾向が強いことがわかったが、この語を使った著者(表 3)の性別との相関関係を調べた<sup>11</sup>。その結果、男性 12 名、女性 10 名で、debonair の使用者に男女の嗜好の差は認められなかった。

(表 3) debonair と debonaire のコンコーダンス

1	pular in all circles being blessed with great charm , a ready wit and	<b>debonair</b>	good looks .
2	One was a dashing ,	<b>debonair</b>	young man ; the other was a beautiful elegant girl with high cheek-
3		<b>Debonair</b>	and dignified , or a danger to the community ?
4	ore in Mayfair — L'ESQUIRE — with the finest fashions for	<b>debonair</b>	discerning men about town .
5	iful Princess with her long train carried by the small page-boys ; the	<b>debonair</b>	Prince ; the members of royal families from all over Europe ; the wo
6	Wostenholme , the Amateur champion , tall ,	<b>debonair</b>	in his white fedora straw hat bearing the crest of Augusta and with
7	cing cock-of-the-walk , even_if the ideal Macheath ought to be more	<b>debonair</b>	.
8	He was in top form , witty and	<b>debonair</b>	, and the party continued until the next day when Modigliani , still i
9	gers of the unknown and the elements with courage , tenacity and a	<b>debonair</b>	spirit of adventure .
10	The thought of	<b>debonair</b>	Seb Smith being beaten by spotty , horrid little Nails tickled Nutty '
11	Sid was a handsome and	<b>debonair</b>	charmer and I enjoyed a happy relationship with his family includi
12	Harry MacConachie and Neville Hollick-Kenyon , the latter being a	<b>debonair</b>	Englishman who had previously flown for Imperial Airways on the f
13	performance of the San Francisco Symphony Orchestra , with that	<b>debonair</b>	veteran Frenchman Pierre Montreux conducting .
14	Then there was a real showman in the person of	<b>debonair</b>	Harry Pryce who conducted &#x201c; Stag Party &#x201c; , &#x201c; Mu
15	, had returned from war service in Europe looking as handsome and	<b>debonair</b>	as ever .
16	So the	<b>debonair</b>	Simon had made it big in the financial world .
17	e turned her head she saw the calm face of a man , a gentle man , a	<b>debonair</b>	man , a wandering but caring man .
18	They were on Factory , they were churning out some	<b>debonair</b>	guitar pop in the form of &#x201c; Brighter &#x201c; and &#x201c; A Ge
19	rain soon found he was stealing the scenery from Bryan , the suave	<b>debonair</b>	bloke who led Roxy music ...
20	inflect his expression just so , to suggest a man on the cusp between	<b>debonair</b>	and disintegrating .
21	Her wardrobe was put together by the	<b>debonair</b>	O'Toole who took Tara to the chic London designershop , Burns .
22	Also in line to become Princess Diana 's escort is her	<b>debonair</b>	army pal Major James Hewitt .

23 Fittipaldi was arrogant , James **debonair** .

24 He was no longer the **debonair** Major Freddie Nash in the well-pressed uniform and highly polished

25 And a neat moustache which gave him a slightly rakish , **debonair** look .

26 ew's for all those who shed a tear on election night for Ian Grist , the **debonair** Welsh Tory Minister who lost his seat at Cardiff Central .

27 The **debonair** style they both preferred for handling issues gave or grim was part

28 sseau , the curator of European paintings whose playboy antics and **debonair** charm masked his mediocre acquisition record , contrasts with his d

29 The ninth-wicket stand of 183 equalled that of **debonair** Chris Greetham and that purveyor of suicidal singles , Harold Step

30 ed in terms of the chaste presence of St Edward ; Edward is ... the **debonair** king par excellence' ; his arms are also found painted in the block bo

31 quo; them ; his robust heroes are &quot; gentle &quot; and &quot; **debonair** &quot; ; feet are &quot; shod &quot; , fields are &quot; meadows

32 e artist is included , cigarette as always in hand , and every inch the **debonair** Frenchman .

33 He was a moving man , bashful but **debonair** .

34 After a bit , he took off his **debonair** jacket and lay back on the bed in a beautiful fluted shirt , much cre

35 On the bridge he saw the third officer raise his hand to his cap in a **debonair** salute , and she waved gaily back .

36 his sexy gear , all sheepskin and flying boots , and scarf knotted in a **debonair** fashion at their throats ?

37 The tall , monocled , and **debonair** &quot; P.-B. &quot; drew large enthusiastic crowds to his meetings

38 nder the coffee-table and produced a pornographic magazine called **Debonair** ...

39 Now I know my pornographic magazines : **Debonair** belonged to the cheaper range , targeted at the manual worker 's ha

40 " I know one who posed in **Debonair** .

41 I had just taken another look at **Debonair** — at Vron , my future stepmother .

42 I replaced **Debonair** and picked up Lovedolls .

43 knew I 'd be in a book one day , " she said , reaching once more for **Debonair** , " and now , John , that dream has been realized . "

44 g at him those miraculously even teeth , and looking every inch the **debonair** squire of dames he must have been in his youth .

45 Rob , **debonair** and well-groomed ; the sunlight through stained glass making a col

46 Even with an eye covered , he was **debonair** to look upon .

47	to check on money , cards , cigarettes , lighter — the <b>debonair</b> way you still brush back your hair ,
48	So dashing and <b>debonair</b> .
49	Oh , he was charming and <b>debonair</b> — but he was no match for Damian Flint .
50	They are visited by spectres of childhood terror , the <b>debonair</b> Cosmo Disney and most sinister , the masked Pitchfork Cavalier .
51	name given to some countries , look the dairy of Northern Europe , <b>Debonair</b> cut your nails down !
52	It 's only cos I 'm handsome <b>debonair</b> suave sophisticated and fucking dead horny and hunky .
53	Properly perfumed , to make me <b>debonaire</b> ;
54	There he sits at a table , a confident and <b>debonaire</b> man-about-town , a bachelor with even a touch of the dandy about h

(表 4) 用例の出典

No.	タイトル	著者	出版	年号
1	A classic English crime.	Heald, Tim	Pavilion Books Ltd	90
2	A classic English crime.	Heald, Tim	Pavilion Books Ltd	90
3	Dogs Today.		Burlington Publishing Company Ltd	92
4	Esquire.		The National Magazine Company Ltd	91
5	Ministers decide.	Fowler, Norman	Chapmans Publishers Ltd	91
6	Daily Telegraph, electronic edition of 1992-04-08: Leisure pages.		The Daily Telegraph plc	92
7	Daily Telegraph, electronic edition of 1992-04-12: Arts section.		The Daily Telegraph plc	92
8	Modigliani.	Rose, June	Constable & Company Ltd	90
9	Travel.	Seddon, Sue	Alan Sutton/Thomas Cook	91
10	Who, sir? Me, sir?	Peyton, K M	Oxford University Press	88
11	In all directions.	Dunlop, Roy	Graham-Cameron Publishing	86

12	In all directions.	Dunlop, Roy	Graham-Cameron Publishing	86
13	In all directions.	Dunlop, Roy	Graham-Cameron Publishing	86
14	In all directions.	Dunlop, Roy	Graham-Cameron Publishing	86
15	In all directions.	Dunlop, Roy	Graham-Cameron Publishing	86
16	Best.		Gruner & Jahr (UK)	91/92
17	Lee's ghost.	Pulsford, Petronella	Constable & Company Ltd	90
18	New Musical Express.		Holborn Publishing Group	91/92
19	New Musical Express.		Holborn Publishing Group	91/92
20	New Statesman and Society.		Foundation House	92
21	Today.		News Group Newspapers Ltd	92
22	Today.		News Group Newspapers Ltd	92
23	The champions of Formula 1 from Fangio to Piquet.	Botsford, Keith	Stanley Paul	88
24	Guilty parties.	Street, Pamela	Robert Hale Ltd	90
25	Sons of heaven.	Strong, Terence	Hodder & Stoughton Ltd	90
26	The Daily Mirror.		Mirror Group Newspapers	92
27	British literature since 1945.	Watson, George	Macmillan Publishers Ltd	91
28	The Art Newspaper.		Umberto Allemandi & Company	92
29	Wisden Cricket Monthly.		Wisden Cricket Magazines	92
30	The Angevin legacy and the 100 years war.	Vale, M	Blackwell	90
31	The bright face of danger.	Fisher, Margery	Hodder & Stoughton Ltd	86
32	Gramophone.		General Gramophone Pubcs Ltd	92
33	Nobody's business.	Gilliat, P	Virago Press Ltd	90
34	Nobody's business.	Gilliat, P	Virago Press Ltd	90
35	Saigon.	Grey, Anthony	Pan Books Ltd	83
36	Strawberries and wine.	Nash, E	New Author Publications	93
37	The Dictionary of National Biography: Missing persons.		Oxford University Press	93
38	Money: a suicide note.	Amis, Martin	Penguin Group	85

39	Money: a suicide note.	Amis, Martin	Penguin Group	85
40	Money: a suicide note.	Amis, Martin	Penguin Group	85
41	Money: a suicide note.	Amis, Martin	Penguin Group	85
42	Money: a suicide note.	Amis, Martin	Penguin Group	85
43	Money: a suicide note.	Amis, Martin	Penguin Group	85
44	Posthumous papers.	Barnard, Robert	Corgi Books	92
45	A warning of magic.	Kingston, Kate	Mills & Boon	93
46	A bloody field by Shrewsbury.	Pargeter, Edith	Headline Book Publishing plc	89
47	Plato's ladder.	Romer, Stephen	Oxford University Press	92
48	Sweet deceiver.	Ashe, Jenny	Mills & Boon	93
49	Ungoverned passion.	Holland, Sarah	Mills & Boon	93
50	The Scotsman: Arts section.		u.p.	
51	106 conversations recorded by 'Kevin' (PS0HM) between 29 November and 5 December 1991 with 14 interlocutors, totalling 13948 s-units, 77692 words, and 10 hours 39 minutes 22 seconds of recordings.		Oxford University Computing Services	91
52	132 conversations recorded by 'Mark3' (PS1GE) between 29 November and ?? December 1991 with 11 interlocutors, totalling 8807 s-units, 71717 words, and over 11 hours 8 minutes 38 seconds of recordings.		Oxford University Computing Services	91
53	A classic English crime.	Heald, Tim	Pavilion Books Ltd	90
54	The Titford family 1547-1947.	Titford, John	Phillimore & Company Ltd	89

## 5. 結語

先に述べたように、元来、*debonaire* は人間に用いるものではなかった。菅野教授は *debonaire* が人以外に使用された例をつぎのように紹介している。

自然現象を表す場合に ‘*debonaire*’ が使われる。風の中でも南風が一番「穏やか」(*mild*)であるように、彼女の親切な言葉の徳(効能)が私の心を癒す薬であると、Gower は比喻を使って述べている。

For as the wyndes of the South  
Ben most of alle *debonaire*,  
So whan hir list to speke faire,  
The vertu of hire goodly speche  
Is verrailly myn hertes leche.(6.862-66)

(前出『ジョン・ガワー研究』, p.115)

*debonaire* が人間に用いられるようになってからその適用範囲は人間の内面から外面へと広がっていった。そして現在では、男性名詞と結合する特性をもつ<sup>12</sup>。しかしながらこの特性は *OED* に掲載された中英語の用例にもすでにその傾向が見られる。*debonaire* は発生直後からこの特性を帯びていたのか。そうであるとすればなぜなのか。今後の課題としたい。

### 注釈

- 1 現代英語の綴りでは *debonair* が一般的であるが、*debonaire* という中英語の綴りもまれに見られる。
- 2 菅野正彦著『チョーサーの言葉』, 英宝社, 1997, p.75
- 3 菅野正彦著『ジョン・ガワー研究』, 英宝社, 2002, p.113

- 4 *Online Etymology Dictionary* (<http://www.etymonline.com/>) のデータは以下の辞書に基づいている。

Weekley, Ernest, *An Etymological Dictionary of Modern English*, John Murray, 1921; reprint 1967, Dover Publications.

Klein, Dr. Ernest, *A Comprehensive Etymological Dictionary of the English Language*, Amsterdam: Elsevier Scientific Publishing Co., 1971.

*Oxford English Dictionary* (second edition)

Barnhart, Robert K., ed., *Barnhart Dictionary of Etymology*, H.W. Wilson Co., 1988.

Holthauzen, Ferd., *Etymologisches Wörterbuch der Englischen Sprache*, Leipzig, Bernhard Tauchnitz, 1927.

Ayto, John, *Dictionary of Word Origins*, Arcade Publishing, 1990.

- 5 *British National Corpus* とは 1 億語 (書き言葉 9,000 万語と話し言葉 1,000 万語) からなる世界最大のイギリス英語コーパスである。
- 6 使用頻度が比較的高い形容詞の数字を参考まで以下に紹介する。

good	1107.36
great	579.57
beautiful	75.38

単位は [語/100 万語]

- 7 この他に例外として収録語数 75,000 語の『Eゲイト英和辞典』(ベネッセ)も *debonair* を掲載していない。
- 8 \* は収録項目数を表わす。
- 9 コーパスによる検索では対象語が出現する文だけでなく、その前後の文章(コンテキスト)も見ることができる。本稿では紙面の制約のため

コンテクストを掲載しなかった。

- 10 演劇 *The Pitchfork Disney* の登場人物名 (男性)。
- 11 著者のうち 2 名は名前にイニシャルが使われているなどの理由で男女の判別ができなかった。
- 12 フランス語の *débonnaire* は独自の意味変化を遂げた。『小学館ロベール仏和辞典』(1988)によると、*débonnaire* はつぎのように女性にも適用される。

①[古風]/[文章] お人よしの、甘い

*La directrice est assez débonnaire.* ここの女主人は人がよすぎる。

②[古風] 浮気を許す

*mari débonnaire* 妻の浮気を黙認する夫

③[古語] 家柄のよい[←古フランス語 *de bonne aire* 生まれの高貴な]